



# 犯罪記録に見る江戸時代の盛岡

○会場／もりおか歴史文化館 2階企画展示室 ○開館時間／9時-19時 (入場受付は18時30分まで) \*盛岡市内在住で65歳以上の方、小・中学生のうち盛岡市在住・就学の方は無料  
○観覧料／一般300円、高校生200円、小・中学生100円、団体(20人以上)は各2割引 \*障がいをお持ちの方やその介護をされる方(障がい者1人につき1人まで)は無料  
\*会期中の休館日は、8月15日(火)、9月19日(火)、10月17日(火)

令和5年8月11日(金) - 10月31日(火)

住所 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸1番50号  
Tel.019-681-2100 <https://www.morireki.jp/>

もりおか歴史文化館  
Morioka History and Culture Museum 活性化グループ

# 罪と罰

「江戸時代は戦のない平和な時代だった」と言われます。実際、265年という長きにわたって大きな武力衝突が起こらなかった、歴史的に見ても大変稀有な時代であるのは間違いありません。しかしだからと言って、人々の暮らしが毎日平穩に過ぎた時代だったのかと言えば、必ずしもそうとは言えません。地震や台風などの自然災害、冷害による不

作は多くの人の命を奪いました。そして何より、人がたくさん集まって暮らせばいさかいが起こるもの。人には怒りや欲があり、衝動的にあるいは計画的に悪事に手を染める者は必ずいるものです。江戸時代においても多くの人が、喧嘩や殺人、窃盗、その他様々な罪を犯し、裁かれていました。

もりおか歴史文化館には、江戸時代の盛岡藩で起こった事件に関する史料が多数収蔵されています。この記録からは、現代人と同じように過ちを犯す江戸時代の人々の姿を知ることができ、同時に、罪を裁く役人たちの持つ現代とは異なった倫理観も垣間見ることができます。本展では、記録された数々の事件の中からいくつかに焦点を当て、そこから見えてくる江戸時代の人々と私たち現代人との間の、「罪」と「罰」に対する考え方の違いと共通点を探ります。

「罪」という、いつの時代も変わらないキーワードによって江戸時代と現代を近づけてくれる犯罪記録。それらの記録は単なる事実をつづったものですが、その事実を通じて、現代人と同じように悩み、苦しみ、愛し合い、反目し合い、喜び、悲しむ人々が、江戸時代という昔にも確かにここに生きてきたのだと、私たちに改めて教えてくれるものでもあるのです。

展示資料の一部に、凄惨な事件や残酷な処刑に関する記述が含まれます。予めご了承ください。

## 犯罪記録に見る江戸時代の盛岡



寛延盛岡城下図

### 関連企画

#### ① れきぶん講座「芦東山一人間愛と信念の生涯」

- 日時/8月26日(土) 13:30-15:00
- 会場/1階 研修室・オンライン(Microsoft Teams)
- 講師/小味 浩之 氏(芦東山記念館学芸員)
- 内容/23年に及ぶ幽閉生活の中で『無刑録』全18巻を書き上げた、一閑出身の儒学者・芦東山。その、人間愛と信念に満ちた生涯についてお話しできます。
- 参加費/無料
- 定員/会場・オンライン各50名
- 申し込みの詳細は当館公式HPをご覧ください。  
要事前申し込み。8月6日(日)必着。

#### ② ギャラリートーク(展示資料解説)

- ※当日自由参加
- 日時/8月19日(土) 13:30-14:15  
10月29日(日) 13:30-14:15
- 会場/企画展示室
- 解説/福島 茜(企画展担当学芸員)

#### ③ オンラインコンテンツの配信

当館公式YouTubeにて担当学芸員が展示解説等の動画を公開します。



YouTube



刑罪

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸1番50号  
Tel.019-681-2100  
<https://www.morireki.jp/>

もりおか歴史文化館  
Morioka History and Culture Museum 活性化グループ

